

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伝統文化の舞踊と三味線による小京都飯田での「獅子をどり」「子ども獅子をどり」の創作と発表
事業主体 (連絡先)	小京都飯田伝統文化育成会 TEL:0265-21-1212 FAX:0265-21-1252 Mail:iikoto@machikan.jp
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,420,059 円 (うち支援金: 3,496,000円)

事業内容

- ①老舗料亭や老舗割烹の廃業により小京都飯田における歴史ある古典舞踊・邦楽の伝統文化を指導者から若い担い手に伝承・育成していく。
- ②地域に広く根づく獅子舞で三味線・舞踊による大人と子どもの「獅子をどり」を創作し、伝統文化を親しみやすく若い世代も含め広く普及する。
- ③継続する2期生に加え、新人を加えた担い手の増員による地域での裾野の拡大し、練習成果の発表会で地域へPRしていく。



【7.2.24「舞鶴」での発表会】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①古典舞踊・邦楽の伝統文化を若い担い手に伝承・育成する。
  - ・継続する担い手(2期生) 踊り…5人、三味線…4人、計…9人
  - ・新たな担い手(1期生) 踊り…3人、三味線…5人、計…8人 計17人
  - ・踊りの新たな担い手には、子どもが2人いて、今後への期待である。
- ②三味線・舞踊による大人と子どもの「獅子をどり」を創作する。
  - ・「飯田獅子舞の曲Ⅰ」(子ども用)「飯田獅子舞の曲Ⅱ」(大人用)
  - ・地元で活動する音楽家が音源を創作、指導者が三味線に編曲、振付
  - ・「南信州獅子舞フェスティバル」「飯田お練りまつり」への参加を展望
- ③継続した稽古の練習成果の発表会で地域へ伝統文化をPRする。
  - ・12/22の発表会への観客30人、2/24の発表会への観客80人
  - ・飯田ケーブルテレビ、週刊いいだ、南信州新聞で集中的に広告

- ①古典舞踊・邦楽の伝統文化を若い担い手に伝承・育成する。
- ②三味線・舞踊による大人と子どもの「獅子をどり」を創作する。
- ③継続した稽古の練習成果の発表会で地域へ伝統文化をPRする。

※自己評価【C】

【理由】

- ・新たな担い手、生徒募集が難航し、踊り3人、三味線5人、計8人と予定していた人数より少なかった。
- ・指導育成による練習の成果には個人差があり、2回の発表会が精一杯で、公開練習や獅子舞フェス参加を断念した。

今後の取り組み

- ①古典舞踊・邦楽の伝統文化を若い担い手に伝承・育成は、今後も継続して取り組んでいく。
  - ・担い手が継続して稽古し続けていくには、経済的、時間的な負担が大きく、支援できる収入確保、体制も図っていく。
- ②練習会場・発表会場として旧割烹「舞鶴」が整備されてきており、今後も、利活用していく。
  - ・練習・稽古の会場として、継続して、利用できるように、支援できる収入確保、体制も図っていく。
- ③継続した稽古の練習成果の発表会で地域へ伝統文化をPRする。
  - ・年に2回程度の「舞鶴」での発表会を継続していく考えである。
  - ・「南信州獅子舞フェスティバル」「飯田お練りまつり」へ参加できるよう方策を練っていく。